

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども支援室みらい花立教室		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月7日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中学生・高校生に特化した活動プログラムを実施している。同年代の人たちとの関わり方を学び、活動を通して関わり方の経験ができること。	ソーシャルスキルトレーニングを行い、ロールプレイにて適切な行動や具体的なセリフの練習を繰り返し行い定着できるよう支援している。	ソーシャルスキルについては場面が変わっても般化ができるように支援していく。
2	就労や進学を見据えた支援の提供を行っていること。	就労や進学を見据えた支援を行っており、本人と高校卒業後の目標の確認を行っている。職場実習の振り返り支援などを通して社会人としてふさわしい具体的な行動を教示している。	就労や進学に向けて支援が少ない環境でも適切な社会性が発揮できるよう支援していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が程んどないこと。	職員は地域の自治会の方と関わる機会もあり地域行事へのお誘いもいただいているが、自治会行事が日曜日に行われており日曜日は事業所の開所日でない為、交流することができていない。	地域の方との交流ができる機会を作っていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	子ども支援室みらい花立教室
------	---------------

公表日 令和7年3月14日

利用児童数 28名

回収数 22名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22				・職員の入れかわりがあった時には、お顔とお名前が一致するように、文書配布（お知らせ）があると助かります	今後お知らせをしていきます
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1			・それぞれの児童に合わせ、と記載されている箇所を、中・高生は生徒（子ども）にしていただけると幸いです	ご意見ありがとうございます。変更を検討します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1			・子供の月齢や成長の応じた参加プログラムの、今後高校生、社会人になった時につながるような活動にも参加できるようになれるよう頑張ります!!	今後も将来を見据えた支援プログラムの提供を行います。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	3	4	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21			1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21		1		・病院と学校で、更に家のことまで伝え合ってます	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21			1	・いつも共感して頂いてるので、私だけ？と思うことはありません	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	4		3		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			1	・いつも相談にのって頂き、ありがとうございます
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21			1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			1	・今まで1度もケガなく過ごせています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	2			・気分がムラがあり、以前ほどすんなり行かない時がある
	29	事業所の支援に満足していますか。	21			1	・今回の評価表記載についての補足説明の用紙を同封していただき、ありがとうございました。わかり易いです。 ・同年代の子が多く集まっている貴重な療育の場と思います。とてもありがたいです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子ども支援室みらい花立教室				公表日	令和7年3月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	活動スペースの構造化や視覚的な情報伝達をするなどの工夫はしているが、建物の構造上バリアフリー化はされていない。(階段に手すりは設置している)		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別での対応や相談対応時には面談室を使用するなど、本人に配慮した環境を整えている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		支援翌日の昼礼にて前日の振り返りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		活動の様子を写真で送ったり、ホームページにて活動の様子を載せている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は現在のところ実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修年間計画に沿って職員研修を開催している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		Vineland- II (適応行動尺度)を用いてアセスメントを行っている。また、保護者との面談を行いサービス計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援記録に個別支援計画を挟み、計画に沿った支援の提供を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		Vineland- II (適応行動尺度)を用いてアセスメントを行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成し、プログラムにも個別活動と集団活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼・昼礼にて打ち合わせと役割分担の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援翌日の昼礼にて前日の振り返りを行い、気づきの共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用があった日には支援の内容と結果を記入し、必ず支援の記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回のモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		自立を目指し、「4つの基本活動」を取り入れた活動を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			利用されている方が小学校高学年・中学生・高校生の方ばかりなので、就学前の園や児童発達支援事業所との情報共有はできていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		高校卒業を機に障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、これまでの支援内容や特性についての情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		熊本市自立支援協議会こども部会に参加している。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		子育て学習会を開催している。当日参加できなかった方にもラインにて学習会の内容をまとめたものを配信している。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		4回/年程度、子育て学習会を開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		2か月に1回事業所の活動の様子をブログに掲載している。また、活動の様子を写真で保護者に送っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種訓練は年間計画に沿って実施している。	各種マニュアルや訓練実施の保護者への周知が不十分。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、研修・訓練等を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し研修・訓練等を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		2回/年、研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				